

茨城県土浦市の総合事業について(総合連携計画策定調査)

策定調査

現況及び課題

- 鉄道は、JR常磐線が市域中央を南北方向に走り、3つの鉄道駅(土浦、神立、荒川沖)が設置されている。
- 鉄道駅を起点として、民間バス路線が約100系統、5社により運行されている。
- 土浦駅周辺の中心市街地では、NPO法人により「まちづくり活性化バスキララちゃん」が運行されている。
- 65歳以上の高齢者を対象とした「のりあいタクシー土浦」(デマンドタクシー)が運行されている
- 鉄道、路線バスの利用者は、通勤・通学客の減少、マイカーの普及から減少しており、路線バスについては廃止が続いており、空白地帯が広がってきている。

活性化の目標・方向性

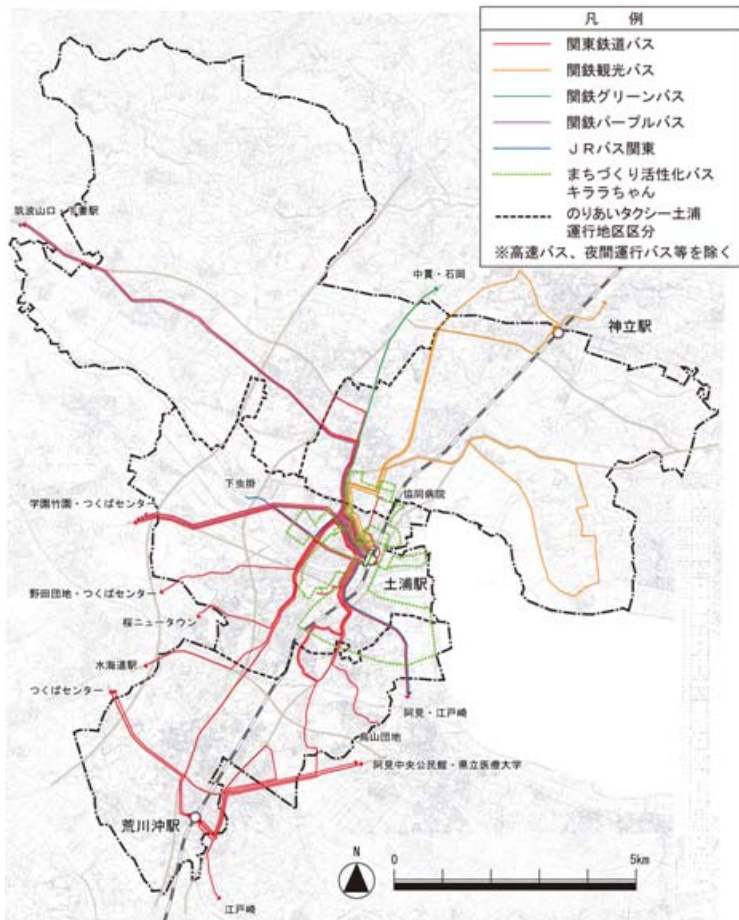
- 複数の公共交通機関が運行されているメリットを活かして、それらの機能分担・連携により、効率的かつサービス水準の高い公共交通体系を再構築する。
- 市民や行政の役割を明確にし、市民への利用促進活動や商店街等の連携を図り、社会的な運動として公共交通の活性化を図っていく。

実施する事業の内容

- 平成20年度に行った、市民アンケート・各種団体ヒアリングの結果、上位・関連計画及び統計資料の分析をもとに、21年度は下記の具体的な調査を行う。
- 現況およびニーズの把握、課題の抽出、基本方針の分析・設定、目標の分析・設定、連携・活性化施策の設定、総合連携計画のとりまとめを行う。
- 連携・活性化施策の設定では、早期に具体化を図る重点施策を選定し、推進方を検討する。
- 施策の具体例としては、地域・市民、事業者、行政の適切な役割分担による新たな公共交通の導入、バスが成り立ちにくい郊外部での公共交通の充実、モビリティマネジメント等による公共交通の利用促進、つくば市との公共交通アクセス向上等が想定される。

茨城県土浦市：総合事業の実施区域

公共交通の現況



機能分担のイメージ図

